

令和6年度 脱炭素事業に関する村民説明会【下生坂地区】開催要旨

日 時	令和6年7月3日(水) 午後7時00分～午後8時09分
	(第1部 村政懇談会：午後7時00分～7時33分) (第2部 脱炭素事業：午後7時33分～8時09分)
場 所	下生坂公民館
参加者	15名(村民13名、議員2名)

(第2部 脱炭素事業：午後7時33分～8時09分)

【質問者】

民家への省エネ機器の導入に関してですが、具体的な商品のラインナップやカタログといったものは、何か用意していただけるのでしょうか。

【村づくり推進室長】

導入できる製品のメーカー指定はありません。4月に発行した『龍と子Vol.05』で、取り扱っている村内の事業者さんの連絡先を紹介していますので、そちらへご相談いただけたらと思います。事業者さんが扱っているものであれば、特にメーカーの指定はないというのが現状です。

【質問者】

導入するにあたって2社以上の見積もりを取らなければならないという条件がありますが、工事費なども全部見積もりをしてもらうということでしょうか。

【村づくり推進室長】

そのとおりです。まずは導入したい機種を取り扱う事業者さんに直接ご相談いただき、見積もりに関してもご確認いただければと思います。

【質問者】

電気代のシミュレーションについて、資料では8月を想定しているようですが、冬場の電気代の想定はしているのでしょうか。

【エコロミ】

冬場のシミュレーションもしてあります。資料に掲載したモデルケースは、大手電力会社を参考にしています。冬場の場合でも昼間に少し太陽が出ている限りは、蓄電池に溜めた電力で夜も賄えるくらいにはなります。太陽光パネルに雪が積もっている場合は発電できませんが、点検がてらにでも雪下ろしが出来れば、生活にとってもプラスになり、いくさかてらすの収益にとってもプラスになり、再エネの利用率も高まると考えております。

【質問者】

下生坂エリアでは、どの辺がバイオマス燃料に使う材の伐採対象になっているのでしょうか。

【村づくり推進室長】

今この事業に関しては、やはり民有林ではそれぞれの地権者との合意等を取る手続きが必要ということで、雲根林道の奥の方まで入ったところにある村有林からまず順次計画していこうと、林務の補助事業の活用も含めて計画調整をしながら徐々に進めております。

【質問者】

オフサイトPPAに関して、下生坂地区ではどこに設置されるか決まっていますか。

【副村長】

現在、各民家への太陽光パネルの設置を調査しております。必要以上には発電を考えておりませんので、オフサイトPPAについては、今後いくさかてらすと契約していただいた方々の使用電力量を考慮しながら決めていきます。今のところ、具体的にここというところは決まっていません。

【質問者】

省エネ機器の補助について、生坂村の事業所と契約してエアコンを更新した場合と、家電量販店などで工事費込みや下取りをお願いした場合は、どちらが得でしょうか。

【村づくり推進室長】

エアコンの場合ですと村から3分の2の補助が出ますので、3分の1が個人負担になります。家電量販店で、3分の2つまり66パーセントオフというところはなかなかないと思うので、

メンテナンスの利便性なども考慮していただき、村内の事業者さんを通してご検討いただければと思います。

【質問者】

取り扱っている事業者さんはどこですか。

【村づくり推進室長】

エアコンを取り扱っている事業者さんは、近いところだと竹内工務店さんや有限会社瀧澤さん、平林建設さん、藤沢商会さん、白沢電気さんなどが指定業者として入っています。見積もりに関しても、事業者さんに一旦相談いただければ、必要な手続きに関して相談に乗りながら対応していただけますので、まずは問い合わせいただければと思います。

【総務課長】

『龍と子Vol.05』に村内の事業者さんと取扱い機器が書いてありますので、こちらを参考に事業者さんへ問い合わせをしていただければと思います。